

事業所名

りんく新琴似北園

支援プログラム（参考書式）

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念	すべての子どもの笑顔のために 子ども達が笑顔で居るためには、まず周りに居る大人、職員や保護者が笑顔で過ごせる環境が大切だと考え、職員が楽しく働ける環境づくり、また保護者の子育て負担の軽減や、仕事と子育ての両立が出来るように、一緒に子育てをしていきたいと考えております。		
支援方針	◆好きなこと、得意なことを見つけ、のびのびと伸ばします。 ◆苦手なことも楽しみながら克服していきます。 ◆「できた！！」が自信につながるように支援していきます。 ◆学校、地域社会とのつながりを大切にします。		
サービス提供時間	登校日	14時 00分から	18時 00分まで
	学校休業日	09時 00分から	17時 00分まで
		送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
	ねらい		とりくみ
本人支援	健康・生活	◆健康状態の維持・改善 ◆生活習慣や生活リズムの形成 ◆基本的な生活スキルの獲得	◆通所時に健康状態の観察と把握 ◆自宅や学校での生活の様子の聞き取りと把握 ◆生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、子どもの状態に応じて適切な時期・手法で支援
	運動・感覚	◆姿勢と運動・動作の向上 ◆保有する感覚の活用	◆トランポリン、ボール遊び、公園での外遊びなど、身体をしっかりと動かす粗大運動の導入 ◆スライムあそびや粘土あそび、水遊びなどの感覚を程よく刺激する遊びの導入 ◆ハサミやのり、お絵描きや折り紙等の簡単な制作活動を通じた微細運動の導入
	認知・行動	◆認知の発達と行動の習得 ◆空間、時間、数等の概念形成の習得 ◆行動への認知過程の発達	◆遊びなどの選択を通じて、やりたいことを自分で決めたと感じられるような自己決定の形成 ◆相手の話を聞いて的確な判断や行動を必要とされるカードゲームやボードゲームなどの遊びの導入 ◆活動の内容や面白さを拡充するため、遊びの中にルールや数字（時間・点数など）を導入
	言語・コミュニケーション	◆言語の形成と活用 ◆言語の受容及び表出 ◆コミュニケーションの基礎的能力の向上 ◆状況に応じたコミュニケーション	◆言葉になりきらない思いを受け止め言語化し、自分の感情と言葉が一致していくような促し ◆読書、絵本の読み聞かせやカルタ等の遊びの中で、文字を読んだり聞いたりする機会の導入 ◆友だち同士で遊びのルールを決めるなどの工程を通じてコミュニケーションをとる楽しさへの気づき
	人間関係・社会性	◆自己の理解と行動の調整 ◆遊びを通じた社会性の促進 ◆他者との関わり（人間関係）の形成	◆ありのままの姿を認め、人と関わる面白さの獲得 ◆ルールのある遊びの中で、友だちと協力する面白さの体験と獲得 ◆相手の立場に寄り添った行動や言葉がけを一緒に考えられる場の設定
家族支援	連絡ノートや送迎時、面談などを通して情報共有を図り支援します。	移行支援	児童発達支援事業所に通所する児童が小学校へ入学する際、スムーズに小学校や放課後等デイサービスでの生活に慣れるとができるように支援します。
地域支援・地域連携	必要に応じて電話、連携会議やケース会議等を行い、関連各所と情報共有、共通理解をし、連携して支援します。	職員の質の向上	定期的に内部研修を実施すると共に、応急手当講習などの外部講師による研修に参加することで職員の資質の向上に努めています。
主な行事等			